

社会科	2 年	年間 105 時間（3 時間/週）
-----	-----	-------------------

1 年間計画

学期	月	単元	章（小単元）
1 学期	4	地理的分野 第 3 編 日本のさまざまな地域	第 1 章 地域調査の手法
	5		第 2 章 日本の地域的特色 ・単元テスト
	6		
	7	歴史的分野 第 4 章 近世の日本	1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・単元テスト 2 節 江戸幕府の成立と対外政策の変化 ・単元テスト
2 学期	9	歴史的分野 第 4 章 近世の日本	3 節 産業の発達と幕府政治の推移 ・単元テスト
		地理的分野 第 3 編 日本のさまざまな地域	第 3 章 日本の諸地域
	10		1 節 九州地方 2 節 中国・四国地方 ・単元テスト ・パフォーマンス課題
	11		3 節 近畿地方 4 節 中部地方 5 節 関東地方 ・単元テスト
	12		6 節 東北地方 7 節 北海道地方 ・単元テスト ・パフォーマンス課題
3 学期	1	地理的分野 第 3 編 日本のさまざまな地域	第 4 章 持続可能な地域の在り方 ・パフォーマンス課題
	2	歴史的分野 第 5 章 開国と近代日本の歩み	1 節 欧米における近代化の進展 2 節 欧米の進出と日本の開国 ・単元テスト
	3		3 節 明治維新 ・単元テスト

2 学習評価

観点	評価規準	評価の方法
----	------	-------

		形成的評価(日々)	総括的評価(通知表)
知識・技能	【地理的分野】 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査委や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【歴史的分野】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	☐ 授業のワークシートやデジタル成果物 ☐ eライブラリ ☐ 小テスト	☐ 授業で使用したワークシート ☐ 定期テスト、実力テスト ☐ 単元末テスト
思考・判断・表現	【地理的分野】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、市や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【歴史的分野】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	☐ 授業のワークシートやデジタル成果物 ☐ 学級やグループでの発言	☐ 授業で使用したワークシート ☐ パフォーマンス課題 ☐ 定期テスト・単元末テスト
主体的に取り組む態度	【地理的分野】 日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究。解決しようとしている。 【歴史的分野】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、	☐ 授業での発言やつぶやき ☐ 振り返り	☐ パフォーマンス課題 ☐ 授業のワークシート ☐ テストの訂正プリント（加点）

	よりよい社会の実現を視野に そこで見られる課題を主体的 に追究、解決しようとしている。		
--	---	--	--

○形成的評価…日々の学習において、成果(できたこと)や課題(できなかったことや次に目指すこと)をつかみ、復習したり次の学習に課題をもって取り組んだりするための評価

○総括的評価…各学期や年間をととしての学習の成果がどの程度であったかを示す評価

○通知表の評定について…3観点を総括して、5～1の5段階で示す

3 学習のポイント

○教科書(「新しい社会 地理」「新しい社会 歴史」(東京書籍))、地図帳、ノート、タブレットを毎時間準備します。

○ノートは、B5版のノート(一回り大きいものと望ましい)を準備してください。

○授業は、学級教室で行います。学習係は、前日に教科担任に確認をして学級で連絡してください。

○授業で大切なことは「資料からの読み取りと自分の考えをもつ」です。教科書や地図帳などの資料にはたくさんの情報が記されています。たくさんの資料から必要な情報を読み取り、自分の考えを表現しようとすることを大切に、授業に取り組んでください。

○学んだことを定着させるためには、復習することが効果的です。ワーク(よくわかる社会の学習)やeライブラリ、単元テストや定期テストを利用して、自分の課題に応じた問題等に取り組みましょう。

○各単元末や小単元末に、まとめの課題を位置付けています。課題に応じて、レポートを作成したり、探究的な問題(授業で学習した内容を活用する問題)のテストに挑戦したりします。授業で学習したことを基に探究的な課題に取り組んでいきましょう。